



「石神台ガーディアン」2017年8月報告

2017(平成29)年8月20日
石神台ガーディアン代表 中川雅俊
編集者 小野修司

1) 団員数

昼間合同巡回実施者 :	20名
夜間合同巡回実施者 :	33名
青パト巡回実施者 : (同乗者を含む)	3名
以上のどれかの巡回をしている人数 :	53名

個人的に巡回している方や活動に協力して頂いている方を含めた登録者は124名です。

2) 7月16日～8月15日の巡回実施状況

✓ 合同歩行パトロール (自分の住む丁目を中心に実施)

	昼		夜	
	実施日数	延べ参加者	実施日数	延べ参加者
1丁目		夏休み	8日	35名
2丁目		夏休み		45名
3丁目		夏休み		29名
全体		—		109名

✓ 青色回転灯装着車によるパトロール (石神台内を3台の登録車で随時実施)

8月度 : 実施車両数 : 2台 実施回数 : 15回

延べ走行時間 : 11時間20分 走行距離 : 98.0km

3) 不審車両と区別するステッカーの表示について

	調査した夜間8日間			取りあえず90%を 目標にしていますの で住民の皆様にも更 にご協力をお願いいた します。
	路上駐車台数	ステッカー有数	ステッカー有比率	
1丁目	43台	37台	86.0%	
2丁目	21台	18台	85.7%	
3丁目	24台	17台	70.8%	
全体	88台	72台	81.8%	

※来訪者の車にステッカーを入れることは石神台住民のルールです。是非皆さんの
協力をお願いします。

4) 大磯警察より

* 振り込め詐欺

7月に大磯高校の卒業者名簿からかかってきた電話に騙されてついに200万円の被害が起きてしまいました。被害にあった人は「私は大丈夫」と思っていた人かもしれません。しかし1度考えてみて下さい。「私は引っ掛かるかもしれない」と。息子や孫は可愛いものです。しかし、お金の話になったら1度、息子や孫でも疑ってみて下さい。お金を振り込む前に、渡す前に確認してください。ご家族や警察にも相談してください。

大磯管内では7月は1件、200万円で今年1月～7月で1500万円の被害額です。

相変わらず不審な電話は多くかかってきています。十分注意して下さい。

5) ガーディアンの気持

ある暑い土曜日の午前11時半頃のことです。

我が家の家の前の道路を行くナイスミドルの男性グループをお見かけしました。7～8名位でしょうか？存じ上げない方もいらっしゃいましたが、ご挨拶をしながら皆さんの手元を見るとなんと全員手に、手にビニール袋を持っておられました。お伺いするとソフトボール部の方達で練習が終わった後、毎回石神台内のゴミを拾って歩いているとの事でした。

本当に暑い日だったのですが、その日は爽やかな風が心の中に吹いたような気がしたことを思い出しました。

「リンゴの独り言」さんより

※編集部より、「リンゴの独り言」さん、いつもありがとうございます。たまには「スイカの独り言さん」、「めえ～めえ～山羊さん」、「キラキラ星さん」、「花好き花子さん」の話も聞きたいです。

6) 7月27日「交番の日」合同パトロール

それほど熱くない日でした。「育育広場」主催の映画会の後、大磯警察署員、町役場職員、子供達、自治会役員、ガーディアン、そしてアメリカのラシン市からの高校生3人の飛び入り参加があり総勢36人で1丁目～3丁目を英会話の勉強をしながら合同パトロールをしました。終わった後は恒例のかき氷をみんなで食べました。非常に良い合同パトロールでした。

7) 編集者より

※旧暦のお盆に入って天気は梅雨に逆戻りしたように雨降りが続いています。気温も35度前後から25度前後と急激に下がったりすると、どうしても体がついて行けません。天気予報ではまた30度以上の日が続くようになるとか。こんな調子だと体調を崩される方も多いかも知れません。こんな時は無理をせず、暴飲暴食をせず、規則正しい生活をして今年の夏を乗り切ってください。ひと月もすると爽やかな、そして爽りの秋の訪れとなります。

8) その他

今回も14年前にガーディアンを作ってくれた高橋さん(現在北海道にお住まい)からガーディアン誕生秘話ともいべき設立時のご苦労話の続きです。正に「14年前があって今がある」団員は変わっていてもガーディアンは脈々と続いています。是非高橋さんの設立時のご苦労話を読んで頂きたいと思えます。今月は第3回目で5ページ、6ページ目です。

9) 番外・付録・おまけ・雑学

* 今月は真面目なちょっと難しい「割れ窓理論」です。

「割れ窓理論」、皆さんは聞いたことがありますか？知っている方はかなり防犯に詳しい方です。

「割れ窓理論」とは1982年にアメリカのジェームズ・ウィルソンとジョージ・ケリングが提唱した環境犯罪学上の理論です。日本では立正大学社会学科教授の小宮信夫氏が防犯の講演会等で提唱しています。私は12年前に小宮氏の講演を聞いて、なるほど、と感心しました。

即ち、割れた窓ガラスをそのままにしておくと、その建物は十分に管理されていないと思われ、ごみが捨てられ、やがて地域の環境が悪化し、凶悪な犯罪が多発するようになる、という犯罪理論です。

40年ほど前に行ったニューヨークの地下鉄は落書きがひどく、犯罪も多かった。しかしその後、ジュリアーニ市長が1994年から始めた「クリーン・カー・プログラム」で徹底して地下鉄の落書きを消し、駅もきれいにしたら犯罪も少なくなった、と。昔、怖くて乗れなかったNYの地下鉄も安心して乗れるようになった、そうです。因みに日本の地下鉄は世界1きれいで安全な乗り物と言われています。多分一つでも落書きをされたらすぐに消してきれいにしてしまうのでしょう。

日本では例えば駅や公園の公衆トイレの壁に落書きが放置されたり、自転車が乗り捨てられて放置されたり、ゴミ箱のゴミがあふれていても知らんふりをしていると、やはり犯罪者には、この地区の住民は地域のことに関心で犯罪を起こしやすいという心理が生まれるそうです。

石神台を考えると防犯灯の球切れが放置され、のぼり旗がちぎれて垂れ下がったまま、「昼夜パトロール中」のステッカーが汚れてきたないまま貼られていたら、犯罪者は「この街は防犯に関心のない街、スキだらけの街」と判断して、やがてまた空き巣に入られやすい街になるかもしれません。

だから私達ガーディアンは防犯灯の球切れはすぐに役場に連絡し、のぼり旗や、ステッカーは新しいものに変えて、犯罪者に「この街はスキがない、地域に関心が高い」と、アピールしているのです。

「割れ窓理論」分かって頂けたでしょうか？

※「割れ窓理論」をもっと詳しく知りたい人は小宮信夫著『犯罪は「この場所」で起こる』本をお貸しますので小野まで連絡下さい。(TEL72-5898)

挨拶で犯罪なくそう石神台

ガーディアンのホームページは:

<http://www.geocities.jp/tenipon2004>

大磯警察生沢駐在所だより（ふれあいパトロールたかとり）は:

http://www.police.pref.kanagawa.jp/ps/69ps/69pic/69004_12.pdf

大磯警察大磯駅前交番だより（おおいそ）は:

http://www.police.pref.kanagawa.jp/ps/69ps/69pic/69004_06.pdf

- ・啓蒙運動
年に4, 5回程度警察官、他地区の活動家を講師に、講演を依頼し団地住民が受講
- ・青パトロール車の採用
他地域（横浜市青葉区）では認可になったのに、石神台では1年以上前から警察署に申請しているのに、何故か認可になりませんでした。ようやく3台の自家用車（その後5台に増）に青パトを設置して、昼夜間巡回。（陸運局、警察の許可車）
公民館の玄関にも大型の青パトを設置し、24時間連続で点灯。
（※現在も3台の青パトが常時活動しています。）
- ・ダミーの防犯カメラを設置
「防犯カメラ設置地区」と書かれた大きな看板を設置。カメラ本体は本物（犯罪者は偽物だと直ぐに見抜くから）動作、画像録画は無し。
石神台団地への侵入道路は、3本しかありませんから、カメラを3台設置して、常時録画しているように見せかければよいのです。
抑止効果を期待してのカメラと看板です。
（※平成29年4月末現在、5台の本物の防犯カメラが作動中です。）
- ・毎月の活動内容を関係部署へ報告
防犯団結成前から警察署、町役場協働課、小学校、中学校（学校へは自主防犯団結成後報告）へ毎月の活動内容と気づいた事を情報として、広く皆さんに認知してもらうために、書類で提出しました。
（※これも高橋さんが考えたユニークな制度で継続しています。）
- ・ホームページの開設
毎月の活動内容を掲載、活動内容をHPでご覧になれます。
「石神台ガーディアン」で検索できます。このHPは現中川代表が立ち上げてくれました。
（※このホームページは現在休止中です。）

4. 犯罪発生件数

- ・発生件数ゼロを目標にスタートし、直ぐに年間2, 3件に減少して、喜こんでおりましたが、なかなかゼロを達成できませんでした。ゼロにはならず悔しい思いを続けておりました。
平成22年には、小野 修司代表時、念願の「ゼロ」を達成したと聞いて大いに喜びました。 **（※現在5年以上、空き巣被害0を継続中です。）**

5. 受彰

- ・発足した平成16年には、神奈川県警察本部賞、神奈川県知事賞、更に県から防犯活動賞を受賞して、それ以降も色んな賞を受けております。
- ・警察庁から、2百万円相当の防犯用具を頂いております。スピーカー、無線トランシーバー、懐中電灯、防寒衣、腕章、夏のTシャツ等。

6. 付帯効果

- ・この団地の住民の多数は、大都会からの移住者（東京、横浜が主）であって、隣家とも疎遠だった人達が、一転してこの防犯団活動を通じて結束力、連帯意識の強い地域になりました。近隣の団地の方達から言われます。「石神台は結束力が強いからね！」と。

老人会の旅行、映画鑑賞会等での外出介護支援、独居老人の手助け等をもする組織になっています。

また地域内のイベント、花見、ハイキング、芋煮会、餅つき大会、忘年会等を毎年開催。小生転出後も継続して防犯活動及び諸活動を行っております。

(※その後、芋煮会や餅つき大会は自治会と共同開催となりました。)

《結論》

自主防犯団を結成して、色々解ってきた事があります。防犯活動は地域住民が自ら考え、行動しなければ効果はあがらないということです。警察によるパトロールは全くの一過性のもので、パトカーが赤いパトライトを点滅して行き過ぎたら、後は待っていた犯罪者が腰を上げる順番ですから、犯罪者は、非常に頭脳的で一瞬の隙を突いて、留守宅に侵入します。いつもそばにいて、留守にするタイミングを見ているということです。空き巣犯の逮捕率は、非常に低くて数%程度から10%台だと思います。空き巣に入られて、現場検証に来た刑事が言います。「2, 3千円程度の小銭を、いつも家に置いといたほうが良いと。盗むものが何もないと腹いせに、放火されるよ」と言います。

これが防犯担当の刑事の言う事かと、腹立たしくなります。

本気で犯罪者を住んでいる地域に近づけさせないための良い方策の一つは、防犯カメラだと私は思っています。

(※3年前より防犯カメラは本物を年に1台、2台と増やしてゆき、現在この住宅地には5台の防犯カメラが24時間、365日作動しており公園内で起きた水道栓の開けっ放しのいたずらや、のぼり旗燃やされ事件等の軽犯罪がなくなりました。正に高橋さんが言われる犯罪抑止に大きな力を発揮しています。5台も設置している所は大磯町には勿論なく、都市部の繁華街を除いては他にないと思います。)

犯罪者は逮捕されるのが一番嫌ですから、自分の顔、車の番号等を写されるのが怖いはずです。ですから写真に残るのを特に嫌うと思います。

「防犯は自衛でしかない」と言う事かなあと考えています。米国人が銃器を所持する権利を放棄しない心理と繋がります。

不審者を近づけない目的で、始めた防犯活動ですが、防犯以外の効果、団地住民相互の懇親、交流が盛んになって、高齢者への支援等予想外の形に発展しました。

以上

(※内は編集者が補足致しました。)